

## 北海道森林管理局入札監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日：平成24年1月11日)

|           |             |   |
|-----------|-------------|---|
| 開催日及び場所   |             | 平成23年12月21日(水曜日) 中会議室   |
| 委員        |             | 前田 憲 秀 (前田憲秀税理士事務所)<br>青 木 豪 (青木法律事務所)<br>西 村 進 (西村公認会計士事務所)                        |
| 審議対象期間    |             | 平成23年7月1日～平成23年9月30日  |
| 審議対象案件    |             | 386件 うち、1者応札案件32件<br><br>契約の相手方が公益社団法人等の案件60件                                       |
| 抽出案件      |             | 103件 うち、1者応札案件11件<br>(抽出率 26.7%) (抽出率34.4%)<br><br>契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件<br>(抽出率 0%) |
| 工事        | 一般競争        | 38件 うち、1者応札案件10件<br><br>契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件  |
|           | 指名競争        |   |
|           | 公募型指名競争     | 該当なし  |
|           | 工事希望型競争     | 該当なし  |
|           | その他の指名競争    | 該当なし  |
| 随意契約      |             | 該当なし  |
| 業務        | 一般競争        | 27件 うち、1者応札案件 1件<br><br>契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件  |
|           | 指名競争        |   |
|           | 公募型競争       | 該当なし  |
|           | 簡易公募型競争     | 該当なし  |
|           | その他の指名競争    | 該当なし  |
|           | 随意契約        |   |
|           | 公募型プロポーザル   | 該当なし  |
|           | 簡易公募型プロポーザル | 該当なし  |
| 標準型プロポーザル | 該当なし        |   |
| その他の随意契約  |             | 8件 うち、1者応札案件 0件<br><br>契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件   |
| 抽出案件内訳    |             |   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 物品・<br>役務等  | 一 般 競 争   | 30件 うち、1者応札案件 0件<br>契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件  |
|   | 指 名 競 争   | 該当なし  |
|   | 随意契約（企画競争・公募）   | 該当なし  |
|   | 随意契約（その他）   | 該当なし  |
| (特記事項)<br>・ 北海道森林管理局公正入札等調査委員会からの入札等談合情報等に関する報告について |   |   |
| 委員からの意見・質問、それに対する<br>回答等                            | 意見・質問   | 回 答   |
|   | 1 総合評価落札方式について、技術評価点は各業者ごとに固定的なものか、それとも工事ごとに評価するのか。               | 1 業者ごとに提出された提案書を基に、工事ごとに評価している。   |
|   | 2 技術評価点について、各業者は事前に分かるのか。   | 2 技術評価点について、業者は事前に分からない。  |
|   | 3 BB6、BB7の林道新設測量・設計業務において、総合評価落札方式を採用している業務と、採用していない業務があるが、違いは何か。 | 3 林道を新設する場合には、あら道の開設と、既存の道形を利用して格上し開設する場合があるが、あら道開設の割合が大きい場合には総合評価を行い、それ以外の場合には総合評価を実施しないこととしている。   |
|   | 4 AAZ、BBZの災害復旧調査業務等において、緊急随契を行う経緯、理由を知りたい。                        | 4 災害復旧に迅速に対応するためには、早期に調査測量設計を行うことが必要である。具体的には、年度末に、次年度の山地災害及び施設災害等の災害復旧調査実施対象者をあらかじめ公募により選定しておき、災害発生時に復旧調査契約を迅速に締結することにより、災害の早期復旧を目的に毎年実施している。<br>選定された業者すべてに見積書を依頼し、価格が有利な者と契約する仕組みとなっている。 |
| 5 一般競争入札において、簡易型総合評価、標準型総合評価を行っているが、違               | 5 基本的には、1,000万円以上の工事を行う場合には、総合評価落札方式により入札を行                       |   |

|   |              |   |
|---|--------------|---|
|   | <p>いは何か。</p> | <p>うこととなっている。<br/> 治山・林道工事の2億円以上で一定要件を満たす工事については、標準型の総合評価となり、それ以外の工事については、簡易型の総合評価となる。<br/> 造林、生産事業、コンサル関係の総合評価においては、簡易型、標準型の区分はない。</p> |
| <p>委員会による意見の具申又は勧告内容<br/> [これらに対し部局長が講じた措置]</p> | <p>なし</p>    |   |

事務局：北海道森林管理局企画調整部業務調整課

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。

北海道森林管理局入札監視委員会苦情処理会議審議概要

|                            |  |     |      |      |
|----------------------------|--|-----|------|------|
| 開催日及び場所                    | 平成23年12月21日(水曜日) 中会議室  |     |      |      |
| 委員                         | 前田 憲 秀 (前田憲秀税理士事務所)<br>青 木 豪 (青木法律事務所)<br>西 村 進 (西村公認会計士事務所) |     |      |      |
| 再苦情申立概要                    | 申立日  | 件 名 | 契約方式 | 契約月日 |
|                            |  |     |      |      |
|                            | 該当なし   |     |      |      |
| 委員からの意見<br>・質問、それに対する回答等   | 意見・質問  |     | 回答   |      |
|                            |  |     |      |      |
| 委員会による<br>意見の具申又は<br>勧告の内容 |  |     |      |      |